



2022年4月4日

九州朝日放送 総合編成局総合編成部

視聴率速報

2021年度 個人2冠！世帯3冠！！

九州朝日放送（KBC／本社：福岡市中央区長浜 代表取締役社長 和氣 靖）は、2021年度（2021年3月29日～2022年4月3日）北部九州地区において、個人全体視聴率2冠、世帯視聴率3冠を獲得しました。各時間帯の平均視聴率は以下の通りです。

■個人全体視聴率 2冠 *3年連続

06時～24時	「全日」	4.2%	1位
19時～22時	「ゴールデン」	6.0%	2位
19時～23時	「プライム」	6.2%	2位
23時～25時	「プライムⅡ」	2.6%	2位
06時～19時&23時～24時	「ノンプライム」	3.6%	1位

*ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

■世帯視聴率 3冠 *6年連続「3冠」以上

06時～24時	「全日」	7.5%	1位
19時～22時	「ゴールデン」	10.3%	2位
19時～23時	「プライム」	10.6%	1位
23時～25時	「プライムⅡ」	4.8%	2位
06時～19時&23時～24時	「ノンプライム」	6.6%	1位

*ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

ゴールデン・プライム帯では「報道ステーション」(7.5%)が同時間帯1位の高視聴率をマークしたうえ、「特捜9」(6.0%)「刑事7人」(6.0%)「緊急取調室」(6.2%)「相棒」(7.5%)「ドクターX・外科医・大門未知子」(9.2%)など連続ドラマが堅調な視聴率を獲得。また、日曜レギュラー番組「ナニコレ珍百景」(7.6%)「ポツンと一軒家」(9.8%)の好調と合わせて、金曜レギュラー番組「ザワつく!金曜日」(7.2%)も高視聴率を獲得し貢献しました。全日帯ではKBC自社制作番組の「アサデス。KBC」(PART1/4.4%・PART2/8.8%)が同時間帯1位を獲得。さらに「PART2」の世帯視聴率(14.5%)は2年連続で歴代最高をマークしました。また後枠の「羽鳥慎一モーニングショー」(6.2%)も同時間帯1位を獲得するなど、好調な平日午前帯が全日帯を牽引しました。日曜正午に放送中の旅バラエティ番組「前川清の笑顔まんてんタビ好き」(5.6%)も同時間帯トップで引き続き好調をキープしています。21年4月にスタートした女性お笑いグループ“ぼる塾”が出演する木曜深夜の新番組「ぼる部屋」(1.9%)も同時間帯1位をマークするなど好結果を残しました。

【写真】「アサデス。KBC」(左)宮本啓丞アナウンサー (右)徳永玲子

